

使用可能バイオ BB 弾

会場となるバトルランド指定のバイオ BB 弾を必ずご使用下さい。指定バイオ BB 弾はその時々によって違う場合がありますので、必ず参加前にご確認下さい。

詳しくは(<http://bl.ord.cc/>)をご確認下さい。当日に現地購入いただければ間違いございません。イベントフィールド借用の都合上、指定バイオ BB 弾の使用は最重要事項です。

使用銃(トイガン)のレギュレーション

トイガン使用ルールに関してはフィールドレギュレーションに遵守します。(<http://bl.ord.cc/>)

0.20g バイオ BB 弾使用時初速 95m/s (0.9J) 未満

0.25g バイオ BB 弾使用時初速 85m/s (0.9J) 未満

0.12g バイオ BB 弾使用時初速 123m/s (0.9J) 未満 (短機関銃指定弾)

発射サイクル 20 発/秒未満 (機関銃ルール適応時)

イベント当日の現地測定器および測定員が計測した数値で判断させていただきます。

「前は大丈夫だった」「自分の測定器の値と違う」「箱出しノーマルだ」は受け付けません。

弾速チェックで基準オーバーした銃は、会場を退出するまで預からせていただきます。自身で調整出来る方でも再検査は出来ません。

発射サイクルは LMG・SMG (軽機関銃・短機関銃) に関するルールです。

HMG (ヘビーマシンガン・三脚以上の銃座固定式の機関銃) に関しては、重火器の効果を出すために発射サイクルルール適応外とします。(ミニガン・M2 等の固定式機関銃)

トイガンの射撃に関するルール

トイガンの射撃モードに関しては、原則セミオートマチックとなります。これにはアサルトライフル、バトルライフル、他オートマチックライフルを含みます。

マシンガン(LMG・HMG・SMG等)のみ条件付きでフルオートマチック射撃が可能とします。

LMG : 二脚装備の軽機関銃・分隊支援火器である事。

20発/秒未満のフルオート射撃が可能です。

※MINIMI、MAG、M60、RPK、RPD、PKM等

※二脚付きでもG3SG1、64式等「自動小銃」はLMGに含みません

HMG : 三脚以上の銃座に載せた機関銃を重機関銃とします。

固定火器の効果を出す為に発射サイクル制限無しでのフルオート射撃が可能です。

※ミニガン、M2、DShkM等、銃座に乗っていればMINIMI等も可

SMG : 実銃においてピストル弾を使用する短機関銃およびマシンピストルです。

0.12g バイオ弾のみ使用可能とします。フルオートマチック射撃が可能です。

実銃にあるモデルの場合はドラム・マガジン使用可です。

※UZI、MP5、スターリング、ステン、PPSh-41等

※MP7、P90は短機関銃扱いとします。MP44はアサルトライフルとします。

代用機関銃 : 運営委員会の許可があった場合のみフルオート可能とします。

戦力調整のための措置になりますので、自己判断は禁止とします。

・ドラムマガジン装着

自動小銃(アサルトライフル)で、ドラムマガジンを装着している場合に限り

「代用機関銃」としてフルオート射撃可とします。

ドラムマガジンはAKでは丸型のみ(代用品可)、M4ではC-MAGタイプのみとします。

※分隊支援火器用ロングマガジン等装着は特例に含みません

※事実上ドラムマガジンが「フルオートマーカール」になります

※RPK、L-86、ガリルARM等、元々分隊支援火器扱いのものは、ボックスマガジン(スタンダードマガジン)も使用可能です

・特例機種

M27IAR(連合軍)を分隊支援火器としてボックスマガジン(スタンダードマガジン)

でもフルオート射撃可とします。(他同様の機種がある場合は要問合せ)

ガスブローバック式トイガン :

ガスブローバック式の短機関銃およびマシンピストルは、使用するバイオBB弾の重量制限は無しでフルオート射撃可とします。(電動SMGの場合は0.12gのみ)

ガスブローバック式自動小銃は、電動と同様にセミオート射撃のみです。

マガジンに関する制限

マガジンに関しては、コイルスプリングのノーマルタイプマガジン(70~100連等)のみ使用可とします。携行本数に制限はありません。

多弾数タイプしか販売されていない機種に関してのみ、本体に装着している1本のみ使用可能とします。予備としての多弾数タイプマガジンの使用は禁止とします。

- ※多弾数マガジンしか無い機種や、自作機種のための救済措置です
- ※PPSh-41のドラムマガジン等

LMG・HMG等のマシンガンの場合は使用するマガジン形式に制限はありませんが、実銃に存在するタイプもしくはそれに近づけるべく作られた代用品のみとします。

- ※AKタイプでは丸型ドラム、M4ではC-MAGタイプ等

命令系統に関するルール

MMMは予め設定されたシナリオに沿って状況を進めていきます。

大会本部→勢力本部(民族戦線・連合軍)→各勢力小隊長(スタッフ・一般参加者有志)
→一般参加者、という順番のトップダウン式命令系統になります。

命令・任務遂行中のシナリオに大きく関わりそうなアドリブはスタッフに許可を取って下さい。
シナリオに大きく関わらない、場を盛り上げる事ができるアドリブは推奨となります。
(その場で完結するネタ等、自部隊や他部隊を足止めしない事)

ヒットに関するルール

サバイバルゲーム同様のヒット制で進行させてもらいます。
被弾時は「ヒット！」等のヒットコールではなく、悲鳴や被弾リアクションを取って下さい。

ヒット後は基本的に「負傷兵」になって下さい。小隊長の判断で復活、または次のシチュエーションに移行します。戦闘不能状態で敵性勢力に制圧されてしまった場合など、スタッフの判断で「シーンカット」し、状況を仕切り直す場合がございます。

花火に関するルール

参加者個人での花火爆竹、ロケット花火、煙花火(はちどり等)の使用は原則禁止です。

一部の音花火・煙花火をスタッフが演出の一環として使用するものとします。

8連発、12連発、巻き火薬式等の「火薬ピストル」、またはモデルガンの使用は許可します。

アイウェア(グラス・ゴーグル)

サバイバルゲームで使用しても問題ない強度のものをご使用下さい。

テンプル(つる部分)まですべてクリア素材のシューティンググラスを基本アイウェアとします。コスプレ要素を含むもの以外の、スモークやイエローのものは禁止とします。

規定のアイウェアが用意出来ない場合は現地販売品をご購入下さい。
(東京マルイ製シューティンググラスです・フィールド管理棟にて販売)

ナイフ・刀剣類に関するルール

銃刀法に触れる触れない問わず、シチュエーション内への刃物の持ち込みはすべて禁止とします。携行するのはモデル品のみとして下さい。

キャンプ・セーフティエリアに関するルール

キャンプスペースに乗り入れる際は、必ず現場スタッフに従って下さい。

「仲間内で近くに駐車したい」などの場合は、同時に入場するなどしていただかないと駐車スペースの関係で希望通りの位置に配置出来ない場合があります。

「宿泊に使用する車両」「イベント中使用しない車両」「リビング用タープテント」「宿泊用テント」でキャンプスペースの配置が変わって来ます。当日スタッフの指示に従って下さい。

※キャンプスペースに制限がありますので、ご協力下さい

車両以外のセーフティ機材敷設は、「3人につき3x3m」を基本とします。

参加者間で不公平が出ないように調整させていただきますので、必ずスタッフの指示に従って下さい。

宿泊テント等と関係のない、展示用のミリタリーテント等を設置希望の方は事前にご連絡下さい。キャンプスペースではなく、シチュエーションスペース(フィールド側)に設営いただけます。

土曜日キャンプは**夜10時で消灯**とします。トイガンの射撃などの音が出る行為は禁止です。まだおきている方は、灯りと声を小さくするなどして就寝している方に配慮して下さい。

セーフティエリアやフィールド内でバギーやバイク、トラックなどの車両を走らせる場合はスタッフの許可の元走行して下さい。また、スピードは**15km/h**以下を目安にして下さい。

日没後の走行はテントロープなどを引っ掛ける危険がありますので、全ての車両で禁止します。

日没後に出庫する予定がある方は事前にスタッフに申し出て下さい。出庫しやすい場所に駐車出来るよう案内させていただきます。